

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL 03(3404)7661
E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com
友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

3万2000人 全国原発ゼロへ思いつなぐ



原発ゼロを求める人たちが足の踏み場もないほどたくさん訪れました



思ひこたへる人々の参加者

原発ゼロ 大統一行動

福島第一原発事故から3年が経過するのを前に3月9日、「10309 原発ゼロ大統一行動」が日比谷野外音楽堂で開かれました。勤医会、外苑企画、さくら福祉会と共同組織（以下、勤医会グループ）からは約80人（うち都内グループから30人）が参加。全体で3万2000人も集まったため、会場に入れなかった人たちは会場の外でスピーカーから流れ出てくる会場内の発言に耳を傾けました。そして集会後には請願デモを国会前まで行いました。

さまざまな参加者「原発ゼロ」訴える

「ここに来ない人、選挙に行かない人にどうやって（脱原発の）気持ちを届けるのかというのがとても大事なかな。音楽家・坂本龍一さんは静かな口調でこう訴えました。

「NPO法人いわき放射能市民測定室たらちね」の事務局長・鈴木薫さんは、「二人でも多く

の大人たちに、本気で子どもを守るという気持ちで、残りの人生を歩んで欲しい」と被災地で活動する者の願いとして呼びかけました。

勤医会グループの参加者の多くは会場に入りきれず、会場外で請願デモに備えていました。また会場近くには、さまざまな人が集える東日本大震災の追悼の場として特設ステージが設けられ、大人たちが責任をもつて「脱原発」をいまだに13万を超える

人々が原発事故のため避難し、汚染水漏れも続いています。

さらに世論調査（3月15日と16日、朝日新聞実施）では、福島第一原発以外でも事故が起きることに「不安に感じる」人が、「大いに」とある程度）を合わせて86%にも達しています。原発事故は収束せず、原発への不安をたくさんの国民が抱いているのです。

東日本大震災から3年がたったのに、まだまだ福島や被災地では回復が進んでいないことに、同じ東北の青森県出身者として憤りをおぼえます。集会に参加してみんなが元気にデモ行進をして元気に

デモ参加者の声

東北出身者として憤りをおぼえる

事務 木谷美恵（医事課）



勇気をもらい、職場や友の会のみんなと歩いて良かったです。

2人の元首相や保守の人たちが脱原発を言いだしています。若い人も行動を起こしています。原発なくせの声は震災前と比べて劇的に増えて来ています。

私も引き続き病院の運動に参加していきたいです。

福島から 生活にあわせた放射線測定の実践へ

福島市で放射線測定をしているNPO法人「CRMS市民放射線測定所 福島」によると、除染などにより空間線量に減少は見られるが、通学路などでは部分的に高濃度となる「ホットスポット」が存在しているとのこと。そこでこのNPO法人は「子どもたちを安全に通学させたい」という思いから、通学路の空間線量を測定しマップ化する取り組みを行なう予定です。

また福島市では放射線の影響をあまり気にしない親もいる一方で、放射線から子どもたちを守りたい親もいます。これを

未来をにう子どもたちのために、大人たちが責任を持って「脱原発」への道筋をつくるべきではないでしょうか。

おわび 2014年3月1日号一面ピキニ事件60年の記事の本文「14人が亡くなっています」が誤りで、正しくは「16人が亡くなっています」でした。おわび申し上げます。

千駄の萱

3月18日
（火）、薬局の棚から安いボックステイッシュとトイレットペーパーが消え、毎

週通うスーパーでも「増税前セール」がいたる売り場で見られる。4月からの消費税率「8%」への増税を生活の中に実感する。一方、安倍政権は金融政策や公共事業で甘い汁をすわっている大企業にベースアップを伴う賃上げをさせる。そしてそれらをマスコミが報じ、経済が上向いているような印象が演出される。しかし世帯ごとの2014年度の消費増税による年間の負担増額（みずほ総研試算）は庶民にとって厳しい数字だ。年収300万円未満で57,529円、年収300万円以上400万円未満では70,888円、さらにそれぞれに厚生年金保険料の増加分（4,189円と6,176円）が加わる。逆に大企業の中には輸出で消費税が戻ってくる会社もある。2005年の輸出上位10社の還付額は8727億円にもなった（全商連の資料より）。4月以降は安倍政権の大企業優先・容赦ない庶民いじめをさらに実感することになりそうだ。これまで我慢していた人も、遠慮せず怒りを政治にむけよう。（た）